

近畿中国森林管理局 林野公共事業の事業評価第三者委員会議事録 (期中の評価の評価)

月 日： 平成19年7月18日(水) 13:00 ~ 13:45

場 所： 近畿中国森林管理局 大会議室

出席者： 委員長 大手 桂二
委 員 大橋 慶三郎
委 員 市川 亮

説明員： 森林整備部長、計画部長、企画調整室長、治山課長

[期中の評価関係]

(大手委員長)

写真では谷止工の下流側の地盤が洗掘されているように見えるが現地の状況はどうか。
大雨等で増水が起り、オーバーフローして下流側の洗掘が予想される場合、水たたき工等を施工されてはどうか。

(治山課長)

常水がないこともあり、根入れを十分に取ることで対応し、現在のところ下流側の洗掘は見られない。

当該施工地は上流域で、水たたき工は施工していないが、施工地が下流に位置し、流水による洗掘の恐れがある場合は、水たたき工等の施工を検討していくこととなる。

(大手委員長)

新たな崩壊地が発生し、当初より計画が増大したとのことだが、過去から崩壊地があり、2次侵食を受け拡大したものか。

(治山課長)

現地は小規模の崩壊地があったが、当初計画時には自然復旧が進んでいたため土木構造物の施工は計画せず経過観察を行っていた。当該箇所が拡大崩壊し、復旧工事を施工するため事業規模が増大している。

(大手委員長・大橋委員・市川委員)

資料の説明を受け、意見・提起をさせていただいたが、第三者委員会として、期中の評価について検討委員会が作成された評価(案)で異議はない。

なお、本日申し上げた意見が、今後の事業に反映されることを期待する。